

2025年度 第二回 自主防災隊定期連絡会 議事録

参加出欠

班	氏名役職	出欠	班	氏名役職	出欠	班	氏名役職	出欠
14	池田 隊長	○	2	関野 副隊長	○	9	八木 隊員	○
3	松島 隊員	○	9	岡田 隊員	○	2	小野 隊員	—
6	安藤 隊員	○	12	大村 隊員	○			

1. 総括

本格的に自主防災隊として、今後どのような形で丸山団地自治会に貢献していくのかを広く話し合った。また、前回決めた推進していく事務についての進捗状況について報告を行った。

・丸山団地自主防災隊の基本事業

- ①自治会内の防災装備の点検と充実、管理を行う。
- ②有事に備えた防災意識を自治会内住民に周知する。またその為の企画を実行する。
- ③地域消防と連携し、自主防災隊のみならず住民にも最低限の訓練を行う。

2. 事務推進進捗

前述の推進事項に関連して分担推進する業務を決めた。

分担内容(前回参照)	担当
<p>今後の計画に必要と思われる自治会地図を充足するため、会員・非会員問わず住民情報(名字等)を収集し、地図を作成する。可能であれば居住者の大まかな年齢層も調べる。また、地図に消火栓など未更新部分が見られたため、そちらも併せて更新する。 尚、関係者以外閲覧不可。 ・居住者名前収集 ・消火栓位置の再検索(※小野隊員からの情報によりアプリ「東京消防庁MAP」が有効とのこと)</p>	自治会役員会 (八木・関野・安藤・大村)
<p>進捗 まずは丸山団地自治会内を自主防災隊で散策を行い、自治会内の危険区域・記載のない消火栓の点検、自治会内消火器の点検をする。併せてスタンドパイプ運用に関する設置場所などについても協議を行う。 居住者名前の検索については未実施。ガイドラインの作成をする。</p>	
<p>自治会内にある防災無線(行方不明者捜索願等で使われるスピーカー)について、火災発生時などに使用ができないか、または依頼ができるか等について、概要を市の担当者(恐らく防災課)に問い合わせる。</p>	松島
<p>進捗 松島隊員による市への聞き取りと要請の結果、自治会単位での防災無線の使用は不可との事だった。 →我々で出来る対応として、拡声器の各隊員への貸与を行った。緊急時にはこれを使用し、火災の周知や避難誘導を行う。</p>	

自治会館裏倉庫のガス発電機の点検を検討と実施	役員会
進捗 実施。多目的広場の発電機に不調が見られる。要整備。夏季は炎天下による体調不良が心配のため、時期を見て行う。	
キーボックスの設置と購入検討と実施	役員会 池田
進捗 役員会にて予算申請のための調査を実施中。可能な限り堅牢なキーボックスが望ましい。複製する鍵の選定も策定中。	
無線機の購入検討	役員会
進捗 役員会にて予算申請のための調査を実施中。デジタル無線とアナログ無線があるがそれぞれに長所短所あり。 デジタル無線→距離、音質ともによし。但し高価であり停電時の仕様に難あり。 アナログ無線→遮蔽物(山など)による距離の減衰大。音質も距離に伴い劣化。但し安価であり停電時も使用可能。距離に関しては数でカバーが可能だが、伝達方法の訓練必須。	
パンダ公園のスタンドパイプをお祭り倉庫に移動の検討と実施	役員会
進捗 お祭り倉庫の搜索の結果、現時点ではスタンドパイプを置くスペースが無い事が判明。但し、今年度は倉庫購入のための助成金(別途記載)が得られるため、防災専用倉庫を設置しそこに移動する計画を策定。	
発電機等の鍵の複製を検討と実施	役員会
進捗 現在対応中。	
スタンドパイプの西町田署指導の訓練を計画・実施	池田
進捗 現在対応中。	

3. 東京都助成金による防災倉庫の購入について

今年度は東京都による防災倉庫購入の助成金が70万円(100%)で得られる事となった。

現在自治会ではスタンドパイプ、発電機、その他防災用品の置き場に難を抱えており、助成金使用可能を受けて、これらを解決するため多目的広場に可能な限り広い倉庫を設置する事となった。

倉庫と業者の選定、助成に必要な申請は

- ・池田隊長(選定、申請書作成)
- ・関野隊員(申請書作成補助、捺印、市民協働推進課等市政交渉)

の2名である。

尚、申請にあたっては進捗を役員会へ報告するとともに、申請関連業務の自主防災隊への委託の承認を求める。

4. 次回

次回は6月29(日)18:00~自治会館

各々の実施進捗状況と、可能であれば役割分担などの編成を詰める。